

授業科目名	乳児保育 I	教員名	小川美由紀	免許・資格との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
保育士	必修					
こども音楽療育士						
授業形態	演習	担当形態	単独	卒業要件	小幼コース	選択
科目番号	FOI102	配当年次	1年後期		幼保コース	必修
単位数	2単位					
科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等						
科目	告示別表第1による教科目					
系列	保育の内容・方法の理解					
一般目標	「保育所保育指針」及び「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に示された、乳児保育に関する専門的な知識や技能を学ぶ。0・1・2歳児の発達や、生活・遊びの過程を理解し、職員間の連携・協働等を活かした具体的な体制を想定した保育を構想する方法を身につける。					
到達目標	(1) 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及びその役割等について理解する。 (2) 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 (3) 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 (4) 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。 ※「乳児保育」とは、3歳未満児を念頭にいた保育を示す。					
授業の概要	乳児保育の役割と機能を知り、乳児保育を学ぶ意義について理解する。乳児保育の理念や「保育所保育指針」及び「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における乳児保育の概要として、0歳児保育の3つの視点と、1・2歳児保育の5領域、3歳以上児保育の5領域の関連性について学ぶ。また0～3歳ごろの発育・発達の目安を知り、関わりの留意点について知る。さらに保育所・認定こども園における乳児保育と、保育所・認定こども園以外の保育事業における乳児保育について調べ、発表することで知識の共有を図る。実践的な学びとしては、乳児保育における保護者支援の演習や0～2歳児が遊ぶ姿の観察、乳児保育における物的環境と人的環境、保育の体制等についての理解を深める。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業計画	第1回：オリエンテーション／乳児保育とは何か 乳児保育の役割と機能を知り、乳児保育 I の授業目標と意義を理解し、学修の見通しを持つ。 第2回：乳児保育の歴史と理念 乳児保育の歴史の変遷と「児童福祉法」における乳児保育の理念について学ぶ。 第3回：「保育所保育指針」における乳児保育の概要 「保育所保育指針」における乳児保育の概要について学ぶ。 第4回：乳児保育の基礎知識 1 養護における基本的事項から、「子どもの主体性を尊重する乳児保育」について考える。また、0歳児保育の3つの視点と、1・2歳児保育、3歳以上児保育の5領域の関連について理解する。					

	<p>第 5 回：乳児保育の基礎知識 2 乳児保育に関する様々な発達理論について学ぶ。</p> <p>第 6 回：6 ヶ月未満の子どもの育ち 6 ヶ月未満児の育ちの特徴と関わりの留意点について学ぶ。</p> <p>第 7 回：6 ヶ月以上 1 歳未満の子どもの育ち 6 ヶ月以上 1 歳未満児の育ちの特徴と関わりの留意点について学ぶ。</p> <p>第 8 回：1 歳以上 2 歳未満の子どもの育ち 1 歳以上 2 歳未満児の育ちの特徴と関わりの留意点について学ぶ。</p> <p>第 9 回：2 歳～3 歳の子どもの育ち 2 歳から 3 歳の育ちの特徴と関わりの留意点について学ぶ。</p> <p>第 10 回：乳児保育の基礎知識 3 保育の実施における配慮事項と、特別な配慮が必要な子どもへの支援について学ぶ。</p> <p>第 11 回：保育所・認定こども園における乳児保育 1・2 乳児保育における物的環境と人的環境、保育の体制について学ぶ。</p> <p>第 12 回：保育所・認定こども園以外の保育事業における乳児保育 1 乳児院及び家庭的保育事業、その他の保育事業における乳児保育の現状と課題をグループで調べる。</p> <p>第 13 回：保育所・認定こども園以外の保育事業における乳児保育 2 発表準備を進める。準備が整っているグループから発表し、情報の共有を行う。</p> <p>第 14 回：保育所・認定こども園以外の保育事業における乳児保育 3 乳児や家庭を取り巻く環境と子育て支援の場について学ぶ。</p> <p>第 15 回：乳児保育における保護者支援 乳児保育に必要な保護者とのパートナーシップについて学ぶ。</p> <p>単位試験</p>
<p>学生に対する 評価</p>	<p>試験 50%、グループ発表・課題提出 30%、ワークシート・授業外学習 20%をもとに総合的に評価する。なお、授業外学習等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・回答例を配付する。
<p>時間外の学習 について</p>	<p>(事前・事後学習として週 4 時間以上行うこと。)</p> <p>◎提出課題・授業外学習プリント：講義の内容に対応した課題または授業外学習プリントを適宜配付する。予習として取り組んだ場合には、不明な点等を明確にしておくこと。また演習の内容について自分なりに復習し、提出期日までに理解しておくこと。</p>
<p>テキスト</p>	<p>『はじめて学ぶ 乳児保育 第三版』 志村聡子 編著 同文書院</p>
<p>参考書・ 参考資料等</p>	<p>「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 「乳児保育 演習ブック [第 2 版]」松本峰雄 監修 ミネルヴァ書房 「乳児の保育 新時代」乳児保育研究会</p>
<p>担当者からの メッセージ</p>	<p>平成 27 年度の要領・指針の改訂において、0・1・2 歳児の保育の重要性が見直されました。 乳児保育を学び知識を深め、0・1・2 歳児の世界を一緒に深めていきましょう！</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>火曜日の放課後（メールでアポイントを取ること）</p>

